

世代がつながる
住区がつながる 未来へつながる

高の原駅前広場 リニューアル 概要説明資料

奈良市 都市整備部 都市政策課

背景1

平城・相楽ニュータウンパワーアップビジョン検討会議※1
によるアンケート調査

抜粋した現状・課題

・高齢化への対応
人生100年時代の生き方
移動の困難さ
地域活動の世代交代

・コミュニティの充実
若い世代の地域活動の少なさ
顔が見える住民関係
単身での暮らしへの不安

・社会情勢の変化
働き方の多様化(リモートワーク)
くらしの変化(家族構成)

R2.11「平城・相楽ニュータウンのまちづくり・まち育てに向けたアンケート調査」集計データより

未来に向けた取り組みが必要
令和4年から平城・相楽ニュータウンの活性化について検討

※1:関西文化学術研究都市推進機構が事務局となり、奈良市、木津川市、精華町、UR都市機構、関西文化学術研究都市センターが参画した会議

背景2



まちびらき50年を契機に
地域住民が主導する取り組みが各地で活性化

住民と企業が連携し、
課題の一部を解消する希望に

取り組みが継続するためのサポートを検討

高の原の真ん中にある高の原駅前広場を
より使いやすく、居心地の良い空間へ
再整備計画に着手

プロジェクトチーム会議の立ち上げ

計画に地域住民やまちづくりに取り組む方の意見を取り入れるため、各住区からの代表者、まちづくりに取り組む関西文化学術研究都市センター、奈良市、木津川市、精華町の職員が参画

20年後の未来の高の原の姿

高の原で育った人が 帰ってきたくなる
高の原らしいまち

未来のまちの姿(PT会議第1回)

高の原らしさにつながり、未来の高の原で実現したいまちの姿を議論・整理した際のキーワード。

自然豊か	閑静	安全	アクセス良好	おうち感	解放感	地域の催し物充実
お年寄りが元気	子どもも元気	子育て世代	多世代の関わり	多様な人々の交流	学びの場	歩きやすい
日常生活が便利	みんなで子育て	集まれる場所	若者が集う	安らげる場所	笑顔で溢れる	環境に配慮した交通

育てていくモノ・コト

これらを踏まえ、駅前広場で取り組む内容を、計9回のプロジェクトチーム会議で議論してきました。

高の原らしさにつながる駅前広場での風景や取り組みのキーワード

住区の境を越え、友人・仲間・知り合いをつくる	知り合い以外のいろんな人と、育児の悩みを共有する	住区を越えた地域合同のイベントで盛り上がる	学生と住民が協働して取り組みを企画・検討する
友人・仲間とおしゃべりを楽しむ	高の原らしい「まちの景色」を楽しむ	1人でほっと一息つく	1人で読書を楽しむ
1人またはグループで仕事・勉強する	こどもから大人まで、興味・関心を深める学びを得る	エリア内を不便なく移動できる	安心してこどもを預けられる

駅前広場再整備において重要視

住区の境を越えて、知人・友人・仲間の
“つながり”をつくれる駅前広場

駅前広場再整備プラン

検討項目

- エリアごとの使い方⇒ゾーニング
- 各エリアのコンセプト
- 機能の配置
- 整備後の運営方法

検証

社会実験を開催し、
未来の駅前広場での
過ごし方を体感
いただきました。



反映



実験の様子

再整備計画イメージパース



再整備計画の詳しい説明は、裏面です→

